

和光市 みどりの基本計画



令和4年3月
和光市

和光市は、東京都心から20 km圏内にありながら、本市の特徴ともいえる湧水や斜面林等が多く存在し、自然環境に恵まれています。

みどりは、暮らしにうるおいや安らぎを与えてくれるほか、大気の浄化や都市気象を緩和するなど、様々な役割を果たしています。近年では、その機能を「グリーンインフラ」として社会における様々な課題解決に活用しようとする動きが世界的に広がっています。



そのような中、令和3年に最上位計画である和光市第五次総合振興計画基本構想が策定され、「みんなをつなぐワクワクふるさと和光」が都市将来像として掲げられました。この「ワクワク」は、本市の大切な地域自然である「湧き水」を想起させる言葉でもあり、本市の宝である自然資源を守っていく意思を示すものです。

一方で、交通利便性が高く、良好な居住環境を有する本市は、開発などにより身近なみどりが徐々に失われつつあり、都市の発展と自然環境保全との調和が大きな課題になっています。

湧水やみどりは、一度失ってしまうと取り戻すことができない和光市の宝です。

減少が避けられない中であっても、残すべきみどりを子どもたちやその先の世代にまで残したい。そして、その中で育った子どもたちが、この場所に愛着を持ち、ずっとここで暮らしたいと思えるようなまちにしたい。

こうした思いから、このたびの改定では、みどりの量やその存在価値にとどまらず、その利用価値を高め、魅力あるみどりにしていくための方針を盛り込みました。そして、みどりの保全・整備・維持管理から魅力発信、パートナーづくりまで、みどりに関する施策を効率的・効果的に一貫して実施していくため、前回の「緑の基本計画」と「緑地保全計画」を一本化し、新たに「和光すみどりの基本計画」を策定しました。

現在は、気候変動問題や新型コロナウイルス感染拡大など、世界的な課題が立ちはだかる困難な時代ではありますが、パートナーシップを大切にしながら創意工夫を重ね、みどりの将来像として掲げる「子どもたちが大人になっても暮らしたいと思える「湧き水」と「みどり」のまち」の実現に向け、施策を推進してまいります。

最後に、本計画の策定にあたり、和光すみどりの基本計画見直し検討委員会の皆様をはじめ、貴重なご意見等をいただいた皆様、並びに日頃より当市の緑地保全、緑化推進事業にご尽力いただいている皆様に心から感謝を申し上げます。

令和4年3月 和光市長

柴崎 光子



目次

1章 みどりの基本計画について	1
1-1 みどりの基本計画とは	1
(1) みどりの基本計画とは	1
(2) 計画における「みどり」	1
(3) 「みどり」の機能	2
1-2 計画の位置づけ	3
(1) 計画見直しの背景・目的	3
(2) 計画の期間	4
(3) 計画の位置づけ	4
2章 和光市のみどりの現状と課題	5
2-1 和光市の概要	5
(1) 広域的な位置	5
(2) 人口	5
(3) 土地利用	6
2-2 和光市のみどりの概要	7
(1) 特徴的なみどり	7
(2) みどりの現況	12
(3) 緑地評価と現地調査	13
(4) 市民や環境団体による自然環境の保全活動と行政との協働	18
(5) みどりに関する市民意向	19
2-3 前計画の進捗状況	20
(1) 進捗状況	20
(2) 主な成果	22
2-4 和光市のみどりの課題	24





3章 みどりの将来像と目標	26
3-1 みどりの将来像	26
3-2 みどりの基本方針	28
(1) 4つの基本方針	28
(2) 将来像を実現するための基本方針同士の関係	29
3-3 みどりの目標	30
4章 将来像の実現に向けた取組	32
4-1 施策の体系	32
4-2 施策の内容	33
基本方針1 みどりの維持	33
基本方針2 みどりの創出	39
基本方針3 みどりの魅力発信	43
基本方針4 みどりのパートナーづくり	46
4-3 重点プロジェクト	50
4-4 緑化重点地区と保全配慮地区	52
5章 計画実現に向けて	53
5-1 推進体制	53
5-2 進捗管理	54
資料編	巻末

